

平成 23 年度 第 53 回千葉県吹奏楽コンクール 変更点について

1. 供用打楽器の使用及び大型打楽器の搬入について

- (1) 「危険防止のため」「公平さを保つため」別紙一覧表の供用楽器が常設されているので、これを極力使用すること。

ただし、供用楽器を使用できない理由がある場合は、事前（7月20日）までに千葉県吹奏楽連盟事務局まで、書面にて申請する（別紙①申請書）。

<供用打楽器の変更点> ※別紙②参照

- ① ビブラフォンとシロフォンを新たに供用楽器に加える。
- ② ティンパニーを2セット用意する。
- ③ ティンパニーについては調整（メンテナンス）係が常駐する。

※ティンパニーのチューニングは必ず各団体で行う事。調整（メンテナンス）係は各団体がステージ袖で行うチューニングには関与しません。

- (2) 出演団体が供用打楽器以外の大型打楽器を搬出入する際は、係員の指示に従って、安全かつ速やかに搬出入すること。
- (3) 大型打楽器の運搬に関しては、階段（県文化のみ地下3階まで）を使用しなければならないので、大会当日の団体受付で配布される参加記章の15個を有効活用して事故の無いように安全に運搬すること。

※やむを得ず打楽器運搬のために追加の参加記章が必要な場合は、以下の内容を明記して事前（7月20日）までにFAXで申し込むこと。

- ①団体名、②連絡責任者、③連絡責任者携帯番号、④必要枚数（10枚以内）

申し込み先・・・千葉県吹奏楽連盟FAX：043-227-6896

※追加参加記章については、他団体も使用するので必ず団体受付に返却すること。

- (4) 階段は狭く急なので、下り（これから演奏する団体）を優先とする。
- (5) ステージ配置図の様式が変更になった（別紙③）ので、千葉県文化会館、青葉の森公園芸術文化ホールに出演する団体は、必ず改訂版を使用する事。その際、供用打楽器については赤で囲い、持ち込み打楽器と区別がつくようにする事。

2. 計画停電が実施された場合の対応について

- (1) 事前予告並びに進行案について（別紙④）

- ① 出演順の交換については、団体同士の話し合いによる変更を認める。
（ただし、遠方・早朝等の特別な事情がある場合のみ）

※この場合、必ず大会本部に申し出る事。

- (2) DVD録画審査について（別紙④）
- (3) 計画停電実施時間帯における対応

停電中は館内に残れないので、観客及び出演者は全て館外に退出する。

(4) 「DVD 審査」となった場合

- ① 結果を千葉県吹奏楽連盟のホームページに掲載して発表する。
- ② 賞状と副賞は郵送とする。

3. 出演者の移動経路について（演奏終了後～写真撮影までの流れ）

- (1) 演奏終了後、打楽器の搬出・積み込みを行う。
- (2) 管楽器奏者は楽器を片付け、楽器運搬車に積み込む。
- (3) その後に集合写真の撮影を行う（楽器を持たずに撮影）。

4. 熱中症対策について

- (1) 服装（演奏者を含む）は軽装（ノーネクタイ、ポロシャツ、Tシャツ等）が望ましい。
※館内は、節電のため空調稼働箇所が大幅に限定されている。エアコンは、「舞台」、「客席」、「小ホール」、「リハーサル室」、「楽屋」が優先される。
ただし、設定温度が高めなので暑くなる事が予想される。〔青葉〕会場ではロビーのエアコンは入らない。
- (2) 水分補給を十分に行う。
- (3) 主催者側では、例年通り救護担当者を常駐させる。

5. 扉の開閉について ※ホール内の冷気を極力逃がさないための吹連での対策

- (1) 会館入り口（東西）に係員を配置し、開け放しの状態を防ぐ。
- (2) 正面大扉（三角大扉）については、危険防止のため例年通りとする。
- (3) ステージ裏大扉-----締め切り
- (4) 楽屋口（演奏者及び打楽器搬出入口）-----出入りの度に開閉する＝担当係員を配置する
- (5) ステージ横の楽屋への通路（階段下）-----開放のままにしない

6. 入場券の払い戻しについて

DVD審査となった場合に限り、入場券代を返金する。